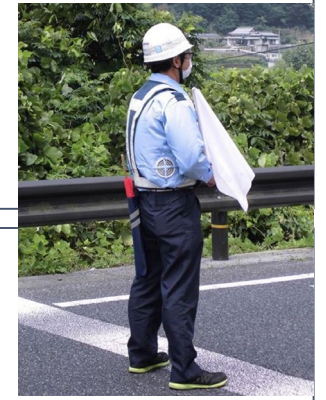


鹿児島県日置市・生ごみ回収事業

背景

右の画像を見て皆さんはどう思われるでしょうか？
快適に作業を行える環境になった？など、様々な見解があると思いますが・・・。
日置市はこう捉えます。
地球温暖化が深刻な状況であり、この様な作業着でないと仕事が出来ない時代が来てしまったと・・・。



現状の課題

人口は、年々減少している。
一方、ごみの量は増え続けている。（燃やせばCO2の発生につながる。多額の税金を投入しなければならない。）
行政として、環境に優しく、かつ、市民と一緒に共通認識を持って取り組める事業はないだろうか？

事業の目的

行政 = 大きな目標を立てがち。市民 = 目標が大きくストレスにつながる。（行政の押し付けと思われる？） ≒ 問題点
日置市が市民に提案した事 ➡ 出来ることを地域レベルでコツコツ取り組みませんか？（生ごみリサイクル事業の始まり）
市民は生ごみを出すだけで、知らず知らずのうちに地球温暖化防止活動に参加している。

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



これまでの取組



構想から約15年、市民目線に立つことで、市民と協同しながら地球温暖化抑制に向けて、CO2CO2（コツコツ）ごみのリサイクルに取り組んできました。

事業内容

『よかんど!』をつくるシステムは
「食品ロス」から「食べるもの」を作る持続可能なシステム

- フードロスの解消
- 安心安全で環境にやさしい農作物の提供
- 地産地消



「**食べたもので食べるものをつくる**」をコンセプトに生ごみを焼却処理せずリサイクルすることを市民に呼びかけながら多くの理解と協力を得て当初の50世帯から約15,000世帯が参加する事業になりました。

12 つくる責任
つかう責任



8 働きがいも
経済成長も



安定して年間1000トン超の生ごみを堆肥化できる事業に展開

鹿児島県日置市・生ごみ回収事業

得られる
成果等

最大の魅力は「人と環境に優しい持続可能なシステム（取り組み）」であるということ。
小さな取組ではあるが大きな効果を発揮出来、日置市民すべてが**サポーター**となり事業を支えています。

たった1つの取組みで年間300トンを超える**CO2**を安定して抑制できること。

生ごみリサイクルによるCO2抑制効果 H29)264t H30)320t R1)362t R2)348t R3)358t



企業に求めるもの等

市民の環境に対する意識の強い日置市で「環境に優しい企業」として企業、市民、行政と一緒に**タッグ**を組み、より良い環境社会を構築するためにお力添えを頂きたい。

企業のメリット

脱炭素社会への取組を全面的に出せる。

（SDGsを積極的に取組む企業として）

食品ロス（廃棄物）の有効利用やCO2削減につながる地球と人（企業、消費者（市民）、行政）に優しい持続可能なループシステムに参入していただく事でのイメージアップに繋がります。

企業との連携イメージ



市民は**未来の子供たち**のために
企業は**地球環境**のために
行政は**市民**のために
目標に向かってゴールを目指す



**「オールひおきで
取組む脱炭素」**

17 パートナシップで
目標を達成しよう



寄附を
する
メリット
等

〒899-2592

鹿児島県日置市伊集院町郡一丁目100番地
日置市役所 総務企画部 企画課
政策推進係 田中 誠

TEL：099-248-9403

メール：seisaku@city.hioki.lg.jp